

【書籍紹介】

『百動、一静に如かず』 露崎 薫 著

西谷 源展(44 回生)

「露崎 薫」は専門学校 36 回生、本庄重雄氏のペンネームである。今年 5 月に小説「百動、一静に如かず」を発売された。氏はすでに 1980 年に小説「不肖の子」、「幽鬼のごとく」、2006 年「崖下の病院」などを刊行されている。「幽鬼のごとく」は神奈川県勤労者文芸コンクールで 1 位を受賞されている。

氏の小説は現実に生じた事柄を題材としたもので、今回の小説「百動、一静に如かず」はある地方自治体病院を舞台にしている。放射線技師長の日常の苦悩と葛藤を描いたものである。管理職である技師長が上司や部下との間でさまざまな問題に対して悩み、対処していく様子をリアルに描いている。諸兄にも一読をお勧めするものである。

発行所 株式会社 文芸社 定価 1200 円
お求めはお近くの書店にてお願いします。



以上

* 通巻 210 号 2014 年 1 月 10 日発行(H25-No.4)より